



公益社団法人 日本薬剤学会
The Academy of Pharmaceutical Science and Technology, Japan

日本薬剤学会 物性 FG セミナー2022

振動分光による原薬・製剤の物性評価

日時：2023年3月3日(金)10:30~17:05

星薬科大学百年記念館(東京都品川区) 及び

オンライン(Zoom)のハイブリッドセミナー

振動分光とは、測定対象の分子振動を光で計測する技術であり、分子の構造や状態を知るために用いられる。振動分光法としては、赤外 (IR) 分光法、Raman 分光法、近赤外分光法 (NIR)、テラヘルツ分光法などがあり、いずれの手法も原薬や医薬品製剤の評価法として用いられている。IR 分光法は古くから化合物の同定や定量などに利用されており、近年では放射光を用いた手法や AFM-IR 法などの新しい手法も開発され、より高感度・高空間分解能のデータが得られるようになっている。Raman 分光法は、第 17 改正日本薬局方の第二追補に記載されたことから分かるように、近年医薬品分野で特に普及が進む手法である。前処理なしで、非破壊・非接触で測定できることから、低分子医薬品のスクリーニング、錠剤のイメージング、品質管理など、様々な目的で応用が進んでいる。特に最近では、抗体や細胞などのバイオマテリアルを Raman 分光法により評価する新しい試みも始まっている。NIR 分光法は Process Analytical Technology (PAT) に有用な手法として広く認識されており、製薬企業の生産現場で混合や造粒工程の管理に実用化されている。本セミナーは振動分光分析の初心者から中級者を対象に、「わかりやすい」をコンセプトとしている。振動分光の魅力を日々追求している産学の研究者からご講演頂き、振動分光法の有用性や可能性について基礎から学ぶ。

プログラム

- 10:30-10:35 はじめに
東 顕二郎(千葉大学)
- 10:35-11:15 振動分光の基礎～はじめての方に向けて原理から
笹倉 大督 先生(スペクトリス)
- 11:15-12:05 低波数領域ラマン分光法の基礎と品質管理への応用
深水 啓朗 先生(明治薬科大学)
- 13:00-13:40 バイオライフサイエンス分野への Raman 分析の応用
廣瀬 侑太郎 先生(堀場製作所)
- 13:40-14:30 オリジナルラマンプローブによる高精度・多重イメージング
神谷 真子 先生(東京工業大学)
- 14:40-15:30 高輝度赤外線領域放射光を利用した分光と物性評価
池本 夕佳 先生(高輝度光科学研究センター)
- 15:30-16:10 ナノ分解能の新しい赤外分光技術 AFM-IR
横川 雅俊 先生(ブルカー・ジャパン)
- 16:20-17:00 PAT への振動分光の応用
深津 卓也 先生(アステラス製薬)
- 17:00-17:05 おわりに
我藤 勝彦(大塚製薬)

開催概要

Zoom を用いたハイブリッドセミナーとなりますが、配信されたプレゼンテーションの画面録画や音声録音は禁止させていただきます。

一般参加費：セミナー（7000 円）

学生参加費：セミナー（無料）

支払は下記への銀行振り込みにてお支払い願います。

きらぼし銀行（金融機関コード：0137）、秋津支店（店番号：055）、普通口座：5028048

口座名：公益社団法人日本薬剤学会物性フォーカスグループ

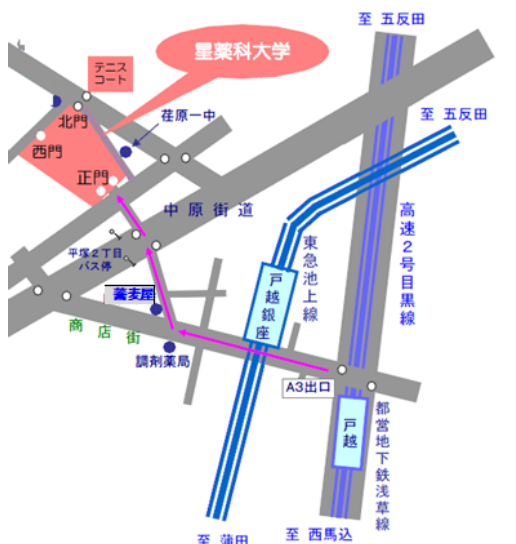
シヤ) ニホンヤクザイガツカイ ブツセイフォーカスグループ

（領収書の必要な方は、登録連絡をして頂く際にその旨をご記載下さい）

会場（対面）

星薬科大学 百年記念館（〒142-8501 東京都品川区荏原 2-4-41）

URL：<http://www.hoshi.ac.jp/site/>



参加申込方法

参加を希望される方は、①お名前、②ご所属、③対面 or オンラインの希望、について明記し、2023年2月6日（月）までに、E-mail (apstj.fg.pp@hoshi.ac.jp) にてご連絡ください。

お問い合わせ・申込み先

事務局：日本薬剤学会 物性 FG 事務局 担当 古石 誉之まで

〒142-8501 東京都品川区荏原 2-4-41 星薬科大学薬品物理化学教室内

電話/FAX：03-5498-5159、E-mail: apstj.fg.pp@hoshi.ac.jp

URL：<http://bussei-fg.com/>

